



## ○活動の目的

子どもたちが様々なコミュニケーションの手法とその重要性を理解し、相手の個性を受け入れ認め合うことによって思いやりの心を育む。

## ○活動内容

- ・ パラスポーツのひとつであるゴールボールの体験
- ・ ゴールボールの元日本代表選手による講話
- ・ 八女の明るい未来に向けての子供たちの想いを記した巨大アートづくり



ゴールボールの体験を楽しむ子どもたち



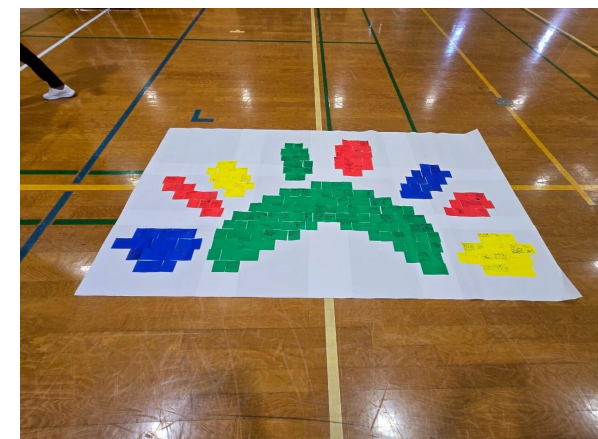
子どもたちに講話を行う、  
ゴールボール元日本代表・浦田理恵氏

## ○活動の成果

- ・これまで馴染みのなかったパラスポーツを体験できたことで、子どもたちがあらゆるコミュニケーションで相手に意思を伝えるための方法を考える経験を養うことができた。
- ・講師の実体験を聴くことで、子どもたちが多様性への理解を深められ、思いやりや利他の心を育むきっかけを作ることができた。
- ・大人になった自分を想像しながら、将来の自分の目標を立てる時間を子どもたち同士が共有する時間を作ることができた。



巨大アートづくりに励む子どもたち



完成した巨大アート

## ○課題

- ・中には“楽しかった”で終わった参加者もあり、学びを言語化するための工夫が不十分であった。
- ・運動が得意な子と苦手な子で、体験の満足度に差が生じた。
- ・開催時期の関係上、熱中症対策に難渋した。

## ○今後のビジョン

- ・子どもたち同士で感想を共有する「対話の時間」をより多く設ける。
- ・他団体や地域の企業とも協働し、共生社会の理解を広げる。



事業終了後の集合写真